

(建設工事 下請負人用)

誓約書

令和 年 月 日

下請工事契約の発注者 様

所 在 地

商号又は名称

代表者氏名

下記1の元請工事契約の履行に伴い、下請契約（以下「本工事契約」という。）の締結にあたり、宍粟市暴力団排除推進条例（平成24年宍粟市条例第4号。以下「条例」という。）を遵守し、宍粟市が締結する契約からの暴力団、暴力団員及び暴力団密接関係者（以下「暴力団等」という。）の排除に協力するため、下記2のとおり誓約する。

なお、下記1（2）の元請工事契約の発注者が、本誓約書写し及び下記2（6）の情報を所轄の警察署長（以下「警察署長」という。）に提供すること並びに発注者が警察署長に下記2（1）及び同（2）に関して意見照会すること並びに警察署長から得た情報を、下記1（2）の元請工事契約の発注者が他の契約において暴力団等を排除するために利用し、また他の契約担当者に提供することについて同意する。

記

1 元請工事契約

- (1) 工事名
- (2) 発注者 宍粟市
- (3) 元請負人
 - ア 住所（所在地）
 - イ 氏名（名称・代表者氏名）

2 誓約事項

- (1) 受注者は、次のアからウまでに該当しないこと。
 - ア 条例第2条第2号で規定する暴力団
 - イ 条例第2条第3号で規定する暴力団員
 - ウ 条例第2条第4号で規定する暴力団密接関係者
- (2) 下請契約及び資材又は原材料の購入契約その他のこの契約履行に伴い締結する契約（以下「下請契約等」という。）を締結するにあたり、前号のアからウまでに該当す

る者を契約の受注者としないこと。

- (3) 下請契約等の受注者（二次以下のすべての下請契約等の受注者を含む。）が当該者を発注者とする下請契約等を締結するにあたり、第1号のアからウまでに該当する者を契約の受注者としないこと。当該下請契約等の受注者が暴力団等であることが判明した場合には、その者を本工事契約から排除すること。
- (4) 受注者が、前3号のほか本工事契約の約定に違反したときには、契約の解除、違約金の請求その他の発注者が行う一切の措置について異義を述べないこと。
- (5) 受注者は、下請契約等の締結をした場合には、下請契約等の受注者から、本誓約書と同内容の1（2）の元請工事契約の発注者に対する誓約書を下請契約等の締結後、直ちに1（3）の元請負人に提出させること。
- (6) 1（3）の元請負人が、受注者又は下請契約等の受注者が暴力団等に該当するのかを確認するために、その役員等（受注者又は下請契約等の受注者が、個人である場合にはその者を、法人である場合にはその役員又はその支店若しくは常時建設工事の請負契約を締結する事務所の代表者をいう。以下同じ。）についての名簿その他の情報提供を求めた場合には、受注者は、その情報を1（2）の元請工事契約の発注者を通じて警察署長に提供することについて、その役員等の承諾を得て速やかに必要な情報を発注者に提出すること。
- (7) 受注者は、本工事契約の履行に伴い、暴力団員等から工事の妨害その他の不当な手段による要求（以下「不当介入」という。）を受けたときは、1（3）の元請負人に報告すること。
- (8) 受注者は、下請契約等の受注者に対し、当該下請契約等の履行に伴い不当介入を受けたときには、受注者に報告するよう指導すること。
- (9) 受注者は、下請契約等の受注者から不当介入を受けたという報告を受けたとき及び下請契約等の受注者が当該下請契約等の履行に伴い不当介入を受けたことを知ったときには、1（3）の元請負人に報告すること。